

令和6事業年度
(第 21 期)

決 算 報 告 書

国立大学法人
長岡技術科学大学

令和6年度 決算報告書

国立大学法人 長岡技術科学大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	4, 0 7 4	4, 1 6 8	9 3	(注1)
施設整備費補助金	4 4 9	4 2 3	△ 2 5	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	3, 0 0 9	3, 1 9 4	1 8 5	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	1 1	1 1	0	
自己収入	1, 2 7 8	1, 4 0 7	1 2 9	
授業料、入学金及び検定料収入	1, 1 3 8	1, 2 0 9	7 0	(注4)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	1 3 9	1 9 8	5 8	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1, 6 8 1	2, 2 5 7	5 7 5	(注6)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	2 4 0	3 0 0	6 0	(注7)
前中期目標期間繰越積立金取崩	1 1 2	5 1	△ 6 0	(注8)
引当特定資産取崩	—	—	—	
計	1 0, 8 5 6	1 1, 8 1 4	9 5 8	
支出				
業務費	5, 7 0 5	5, 4 7 5	△ 2 2 9	
教育研究経費	5, 7 0 5	5, 4 7 5	△ 2 2 9	(注9)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	4 6 0	4 3 4	△ 2 5	(注10)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	3, 0 0 9	2, 8 7 7	△ 1 3 1	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1, 6 8 1	1, 8 3 1	1 4 9	(注12)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	1 0, 8 5 6	1 0, 6 1 9	△ 2 3 7	
収入－支出	—	1, 1 9 5	1, 1 9 5	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、教育・研究基盤維持経費の追加交付による43百万円の増、設備整備災害復旧事業費の追加交付による54百万円の増、授業料免除枠の追加交付による1百万円の増、年俸制導入促進費の追加交付による3百万円の増により、予算金額に比して決算金額が93百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、計画変更等により予算金額に比して決算金額が25百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得等により、予算金額に比して決算金額が185百万円多額となっています。
また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が54百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、予定より学納金の納入者数が増加したため、予算金額に比して決算金額が70百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、寄宿料収入の増や合同企業説明会収入の増等により、予算金額に比して決算金額が58百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、積極的に受託研究等の獲得に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が575百万円多額となっています。なお、前年度からの繰越額は351百万円です。
- (注7) 目的積立金取崩額については、地域共創拠点形成に向けたキャンパス構想の実現事業による取崩しにより、予算金額に比して決算金額が60百万円多額となっています。
- (注8) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、事業の繰越等により、予算金額に比して決算金額が60百万円少額となっています。
- (注9) 教育研究経費については、経費の節減に努めたこと、また、学内既定事業から関連補助金及び間接経費へ一部執行を振り替えたことによる支出減等により、予算金額に比して決算金額が229百万円少額となっています。
- (注10) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が25百万円少額となっています。
- (注11) 補助金等については、事業の繰越等により、予算金額に比して決算金額が131百万円少額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が149百万円多額となっています。